

こまえ平和フェスタ 2023 を終えて

こまえ平和フェスタ実行委員会

2023年9月3日（日）、狛江エコルマホールにて開催された「こまえ平和フェスタ 2023」（第18回）には、250名の方々にご来場（出演者64名含）いただき、オンラインでの視聴者86名を含めて、約330名の方々に平和について考えていただけたかと思います。ホワイエでは多くのオリジナル作品、多くの市民参加による充実した展示等が行なわれました。展示は事前に中央公民館のショーケースで、事後は西河原公民館ギャラリーでも実施され、市民の方に観賞していただきました。



4年振りのエコルマホール開催となった今年のテーマは「明日が今日より平和になるように」です。このテーマは合唱曲として歌われた「虹をつなぐ」の、中学生の作詞から採らせていただきました。出演者はこれまでと比較しても若い人が中心となり活躍しました。

今年はウクライナへのロシア侵略戦争が続き、ベラルーシにロシアの核兵器が配備され、被爆地広島でのG7サミットで「核抑止」が強調されました。日本においても敵基地攻撃能力（反撃能力）が強調されて防衛費の倍増が計画されるなど、どのようにして平和な社会を創るのが、日増しに強まる中での開催となりました。

情報保障として例年の手話通訳と文字通訳を行ない、保育も準備しました（残念ながら保育の希望者はいませんでした）。

ご来場・ご視聴いただいた市民のみなさん、そして賛同広告や事前・当日協賛金など物心両面でご協力いただいたみなさんの平和への想いを支えに、こまえ平和フェスタを無事に終えることができました。深く御礼申し上げます。今年は久しぶりのエコルマホール開催で会計が心配でしたが、単年度収支でほぼ採算が取れました。本当にありがとうございました。市民手作りの平和フェスタを継続し、狛江市の平和文化の一端を担っていきたいと思います。

来年の平和フェスタは2024年8月18日（日）を予定しています。従来のように会場いっぱいの方にご来場者となるように頑張ります。なお、「こまえ平和フェスタ 2023」の詳細は（<http://komae-heiwa-fes.clean.to/>）をご覧ください。

開幕は合唱「折り鶴」

作詞作曲：梅原司平。♪～生きていてよかった それを感じたくて広島のまちから 私は歩いてきた……

1982年、作者が東京都原爆被害者団体協議会25周年コンサートに出演する際、ヒバクシャの思いに自分の思いを寄せて作った曲と言われています。2005年の第1回こまえ平和フェスタでも歌いました。その後も、折に触れ平和フェスタで歌っています。



司会

「こまえ平和フェスタ 2023 の開幕を飾ってくれたのは平和フェスタ合唱団による「折り鶴」の合唱、指揮は大熊啓、ピアノ伴奏は吉田まれいでお送りしました。… 私は本日司会を務めます、狛江第三小学校 3 年、大熊歩です。」とはきはきとした司会で始まりました。



大熊啓実行委員長の挨拶

実行委員長を 4 年続けてきたコロナ禍の経緯を説明、その中で始めたインターネット配信により、東北から沖縄、アメリカで暮らしている方からも見る事が出来るとして「胸がわくわく致します。」

「今から 78 年前に本当に起きていた戦争、そして今、本当に起きている戦争、あの時、広島と長崎に初めて人類の頭の上に落とされた原子爆弾、そしていま、使われるかもしれない原子爆弾。昔のことを学びながら、今の自分たちと照らし合わせて、いま何を考えて、どう行動するのか、一緒に考える機会にしていきたい」として、当時の子どもが戦争を経験した話や、中学生・高校生が平和をどう考えているのか展示されている。「子どもたちがどういう未来を創っていくのか、どういう未来を手渡せるのかを一緒に考えたい」と呼びかけました。



松原俊雄市長の挨拶

終戦から 78 年、戦後生まれの世代が多いこんにち、戦争の悲惨さを未来にどう継承していくかが課題になっていると指摘、ウクライナ戦争に触れながら、「武力によらない平和の実現が人類共通の願いであり」狛江市として、歴史と平和の尊さを後世に伝え、実現するまちづくりを進めるとあいさつしました。



谷田部一之市議会議長の挨拶（宮坂良子副議長の代読）

人々の平和を願う気持ちはいつの時代も変わらない。現実にはロシアのウクライナ侵攻により罪もない子どもたちが傷つき、亡くなっている。戦争の悲惨さを身を持って知らなくなっている今、平和の尊さを語り継ぐことは非常に大切であり、平和フェスタがその機会になることを願う。議会として「平和都市宣言」の精神を尊重し、平和で安全なまちづくりのために最大限の努力をすると決意を述べました。



朗読劇「戦争と狛江の子ども達」

同名の 1999 年 3 月に作成された紙芝居を実行委員の一人、二階堂まり（教師・俳優）が朗読劇にしました。元々は A5 版「狛江・語りつぐ戦争体験」の執筆者 6 人（終戦時 13 歳から 23 歳）に画家の金子嘉一（市内在住）さんによって紙芝居が制作されました。当時は市内小・中学校にレプリカが配布され、上演会も行われていたようですが、最近では聞くことがありません。そこで、平和フェスタ実行委員会が市民と協力して紙芝居の継承活動を始めました。

朗読劇（紙芝居も同様）は昭和 14 年（1939 年）に狛江小学校に入学した子どもの戦中・戦後の体験が描かれます。太平洋戦争が始まってからの家庭や学校生活、戦争が激しくなっていく様を描き、昭和 20 年 5 月 25 日に狛江にも空襲があり小学校が炎上してしまいます。機銃掃射から命びろいする場面もあります。その後、青空教室で勉強したことや終戦を告げる 8 月 15 日のラジオ放送、アメリカ戦車隊が狛江にやってきた様子や戦後の苦しい食糧難も描かれます。戦後 3 年、新しい木造校舎が建てられ、野球大会も行われ、「がんばれ！ 狛江の子ども達。明るい未来をめざして！」と結ばれています。

この朗読劇を中学生、高校生がその役になり切り、20代の青年2人は時には俯瞰的に、ある場面では先生や親になり、見事に演じていました。視聴者からはとても良かったと好評でした。

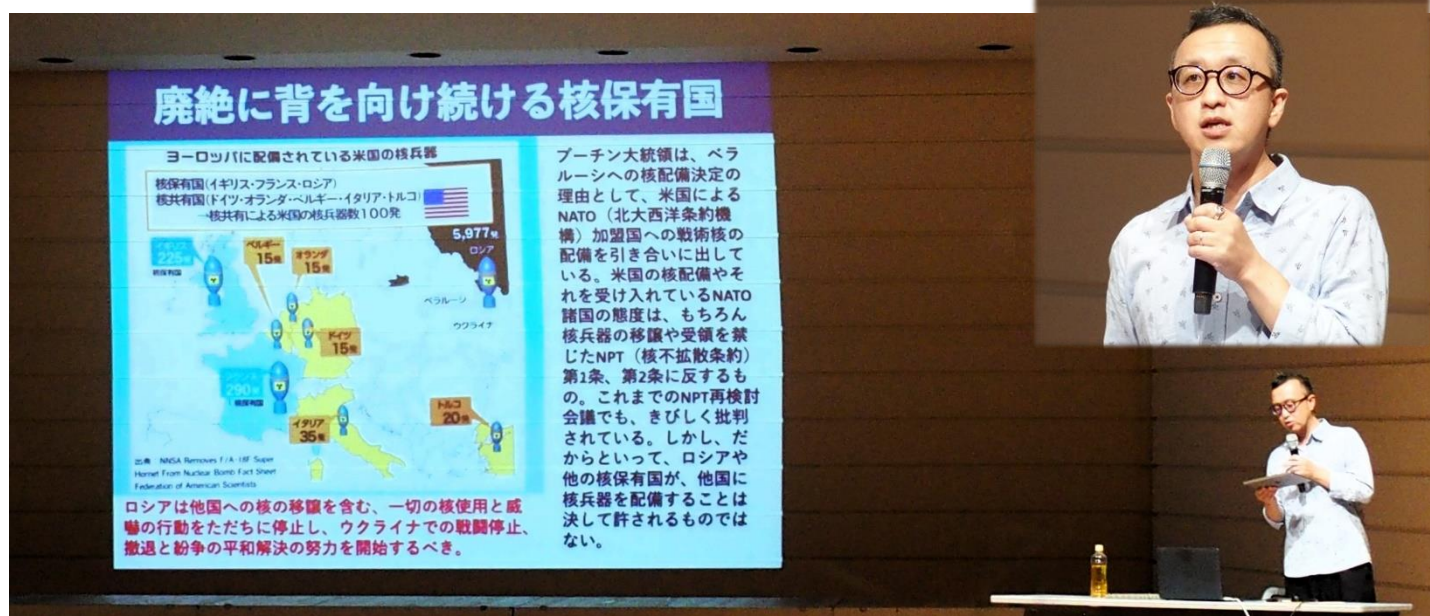
朗読劇終了後には、狛江平和都市宣言が決議されたいきさつが説明され、宣言が朗読されました。



お話「子どもたちの未来に核兵器のない世界を」

前川史郎さん（国連認証 NGO 原水爆禁止日本協議会担当常任理事）

司会から、「2002年、大学生のときに東京から広島まで3か月間、核兵器をなくそうと訴えて歩き続ける『平和行進』を歩きとおし、今も核兵器をなくすために、世界中の人たちと行動をしています」と紹介された前川史郎さん、「世界終末時計」を示して、1947年から発表しているが、今年は昨年より10秒短くなり、歴史上最短の90秒前になった。その理由は「地球沸騰化」というべき気候危機、もう一つは本日の主題であるロシアが核兵器で脅しながらウクライナ侵略していること、もし、核兵器が使われたら長い針は12を指し、世界は終わると話し始めました。そして、ロシアの核兵器の実戦配備に触れ、「アメリカがNATO加盟国への核兵器配備をやめることは当然ですが、ロシアも他国への核の移譲を含む、一切の核使用と威嚇の行動をただちに停止し、ウクライナでの戦闘停止、撤退と紛争の平和解決の努力」を訴えました。原水爆禁止長崎大会開会総会にキーウに暮らすユーリイ・シェリアジェンコ氏からのビデオメッセージでウクライナでの人権侵害に触れ、「正義の戦争はない」とのコメントを紹介、続いて長崎被爆者の田中熙巳さんの体験を紹介し、ぜひ追体験をして欲しい、



広島 G7 サミットで「核抑止力」論が宣言されたが、核兵器は非人道的な悪魔の兵器。小型でも「核の冬」「飢餓」「健康被害」をもたらし、人間と共存できない。「すぐ発射される核兵器は1800」逃げられないことを想像して欲しい。国連のグテーレス事務総長の「核兵器は自己防衛ではない。自殺行為だ」と述べていることを紹介し、「核抑止力」論からの脱却を呼びかけました。岸田政権の軍事費倍増は核保有国が1位から6位まで占めている中で、3位の軍事大国になると指摘、核禁条約の署名・批准を求める自治体数は8月末で662となり、全自治体の37%と紹介、署名の意義に触れ、「核兵器も戦争もない平和で公正な世界を1日も早く実現し、子どもたちやその次の世代に手渡すために、皆さんと一緒に手を繋いで歩いていきたいです。」と結びました。

「平和の誓い」朗読と合唱「虹をつなぐ」

世田谷区立砧中学校の教師で狛江音楽連盟会長の小笠原一恵さんが令和4年度卒業生の平和学習で在校生へのメッセージの一つとして創作された卒業生の詩に、曲をつけて欲しいと大熊実行委員長に依頼したことがきっかけで、合唱曲「虹をつなぐ」（作詞：坂本琴音 作曲：大熊啓）が誕生し、平和フェスタで歌うことになりました。その時に卒業生一人ひとりが人型を切り取って虹のようにつないだ作品が卒業後も校内に展示されていたので、それを借用して平和学習の年表なども加えて展示しました。舞台では広島原爆死没者に捧げたメッセージと、被爆者の話を聴き、在校生に伝えたメッセージを卒業生が朗読しました。



フィナーレは恒例の全員合唱「水と緑のまち」で締めくくりました。

ホワイエでは展示と平和図書コーナー、折鶴コーナー、西東京市に落とされた模擬原爆のパンプ販売をしました。

展示は

○砧中学校 R4 卒業生「平和の誓い」○油絵「ナガサキ」○焼夷弾（実物）○東京学生平和ゼミの紹介○模擬原爆って知っていますか？○広島市立基町高校生の被爆者聴き取り絵○平和と反戦を詠う川柳・俳句等○平和を願う絵手紙○沖縄・広島・長崎平和宣言と核兵器禁止条約関連○非核平和都市宣言のいろいろ○紙芝居

「戦争と狛江の子ども達」継承活動○沖縄の米軍基地、東京の米軍基地○処理汚染水の海洋放出についてなど。

こまえ平和フェスタ実行委員会発行

<http://komae-heiwa-fes.clean.to/>

web-mail@komae-heiwa-fes.clean.to

